

2022年7月8日金曜日

23目標上級期ホームルーム

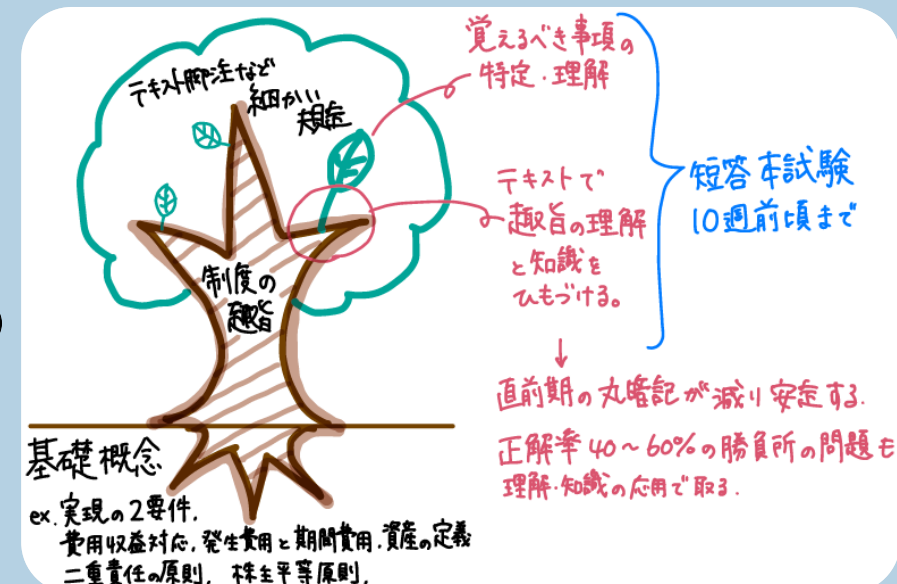
担当：[財務理論・個別相談] 平林

今回の配付資料一覧

- ①ホームルーム_スライド(このレジュメ)
- ②合格カレンダー2022年7月-2023年10月(PDF/Excel)

[以下再配布]

- ③合格者からのメッセージ集(合格体験記)
- ④2021年合格者答案
- ⑤財理学習法



本日の内容

はじめに 2

- ・ 本セミナーのねらい ・ お知らせ(動画「正しい成績の見方」、[LINE公式アカウント](#)、合格カレンダー、テキストチェックゼミ開催について)

I. 7~9月のポイント・スケジュール 8

- ・ p.8 [7~9月のポイント](#) ・ p.10 スケジュール ・ p.13- 5月短答 肢別解答率

II. アクセス・短答答練の準備/受験/復習 18

- ・ p.22 やらかしミス原因と対策例 p.23 成績反映後「[正解状況診断データ](#)」
- ・ p.23 財務計算論点チェックリスト p.24「原価計算基準と短答式本試験」

科目	問題番号	正解率	正解数	不正解数	不正解率
財務	1	100%	10	0	0%
財務	2	100%	10	0	0%
財務	3	100%	10	0	0%
財務	4	100%	10	0	0%
財務	5	100%	10	0	0%
財務	6	100%	10	0	0%
財務	7	100%	10	0	0%
財務	8	100%	10	0	0%
財務	9	100%	10	0	0%
財務	10	100%	10	0	0%
財務	11	100%	10	0	0%
財務	12	100%	10	0	0%
財務	13	100%	10	0	0%
財務	14	100%	10	0	0%
財務	15	100%	10	0	0%
財務	16	100%	10	0	0%
財務	17	100%	10	0	0%
財務	18	100%	10	0	0%
財務	19	100%	10	0	0%
財務	20	100%	10	0	0%
財務	21	100%	10	0	0%
財務	22	100%	10	0	0%
財務	23	100%	10	0	0%
財務	24	100%	10	0	0%
財務	25	100%	10	0	0%
財務	26	100%	10	0	0%
財務	27	100%	10	0	0%
財務	28	100%	10	0	0%
財務	29	100%	10	0	0%
財務	30	100%	10	0	0%
財務	31	100%	10	0	0%
財務	32	100%	10	0	0%
財務	33	100%	10	0	0%
財務	34	100%	10	0	0%
財務	35	100%	10	0	0%
財務	36	100%	10	0	0%
財務	37	100%	10	0	0%
財務	38	100%	10	0	0%
財務	39	100%	10	0	0%
財務	40	100%	10	0	0%
財務	41	100%	10	0	0%
財務	42	100%	10	0	0%
財務	43	100%	10	0	0%
財務	44	100%	10	0	0%
財務	45	100%	10	0	0%
財務	46	100%	10	0	0%
財務	47	100%	10	0	0%
財務	48	100%	10	0	0%
財務	49	100%	10	0	0%
財務	50	100%	10	0	0%
財務	51	100%	10	0	0%
財務	52	100%	10	0	0%
財務	53	100%	10	0	0%
財務	54	100%	10	0	0%
財務	55	100%	10	0	0%
財務	56	100%	10	0	0%
財務	57	100%	10	0	0%
財務	58	100%	10	0	0%
財務	59	100%	10	0	0%
財務	60	100%	10	0	0%
財務	61	100%	10	0	0%
財務	62	100%	10	0	0%
財務	63	100%	10	0	0%
財務	64	100%	10	0	0%
財務	65	100%	10	0	0%
財務	66	100%	10	0	0%
財務	67	100%	10	0	0%
財務	68	100%	10	0	0%
財務	69	100%	10	0	0%
財務	70	100%	10	0	0%
財務	71	100%	10	0	0%
財務	72	100%	10	0	0%
財務	73	100%	10	0	0%
財務	74	100%	10	0	0%
財務	75	100%	10	0	0%
財務	76	100%	10	0	0%
財務	77	100%	10	0	0%
財務	78	100%	10	0	0%
財務	79	100%	10	0	0%
財務	80	100%	10	0	0%
財務	81	100%	10	0	0%
財務	82	100%	10	0	0%
財務	83	100%	10	0	0%
財務	84	100%	10	0	0%
財務	85	100%	10	0	0%
財務	86	100%	10	0	0%
財務	87	100%	10	0	0%
財務	88	100%	10	0	0%
財務	89	100%	10	0	0%
財務	90	100%	10	0	0%
財務	91	100%	10	0	0%
財務	92	100%	10	0	0%
財務	93	100%	10	0	0%
財務	94	100%	10	0	0%
財務	95	100%	10	0	0%
財務	96	100%	10	0	0%
財務	97	100%	10	0	0%
財務	98	100%	10	0	0%
財務	99	100%	10	0	0%
財務	100	100%	10	0	0%

III. 事前質問にいただいたご質問から 26

- ・ p.26/27 企業法 復習とテキスト構造 ・ 講義進捗について等

各種質問・相談窓口・情報提供等 32

- ・ 校舎/zoom質問コーナー ・ 個別成績/学習方法相談
- ・ TAC会計士講座 就職サポート ・ 重要事項の掲載場所/内容

本セミナーのねらい 7~9月によくいただくご質問・疑問点の解消

- 「重要な情報を見逃しそうで不安。」・・・p.5 LINE公式アカウント導入について
- 「優先順位や、気を付けるべき点を知りたい。」・・・p.8 7~9月のポイント
- 「今後のスケジュールを知りたい。」・・・p.10 12月までのスケジュール
- 「5月短答をどう振り返ればよいか。」・・・p.13 各科目 肢別解答率データ
- 「アクセス・答練に向けてどう取り組みればよいか。」・・・p.18-23 アクセス・
短答答練の準備/解答時/復習時のポイント
- 「講義の進捗が遅れているが、アクセスは合流してよいか。」・・・p.18
↳ 該当範囲の講義を受講済ならペーパーカー
として利用。
- 「財務計算 論点チェックリストの使い方が知りたい。」・・・p.24
- 「管理会計で配られたオレンジの冊子はどう使うのか。」・・・p.25
- 「企業法のテキスト復習が進まない。」 ... p.26・27
- 「いつまでに講義を終わらせる必要があるか。」etc ... p.28-31

はじめに(お知らせ)

データリサーチ特典映像「正しい成績表の見方」について (視聴期限2022年8月31日)

- データリサーチ結果確認画面上部「資料」から

公認会計士 データリサーチ

ⓘ 注意事項 資料 (PDF) 印刷する

総合診断

※ TAC独自の見解に基づき判定しており、試験実施団体から発表されたものではありません。

資料 (PDF)

- [【重要】データリサーチ「総合判定」の表示について2022-2.pdf](#)
- [データリサーチ「特典動画」視聴方法のご案内2022-2.pdf](#)
- [TACCPA2022-2-DR中間集計版.pdf](#)
- [TACCPA2022-2-DR最終集計版.pdf](#)
- [TACCPA2022-2-DR合格発表版.pdf](#)

はじめに(お知らせ)

[試行導入] LINE公式アカウント

Web School「講座からのお知らせ」欄や
受講生サイト(@c.p.a.)・Twitterでは見逃してしまいがちな
情報をタイムリーにお届けするため、試験的に開設。

＜ TAC平林 22目標向け

論文学習法セミナー (※日資料再配付)

「論文学習法セミナー」主な内容

- p.9 教材の位置付け(書籍・アクセス)
- p.10 論文読解講座 受講時期等
- p.11 読解講座 読解・論文対策講座
- p.13 読解講座のポイント・読解の進め方
- p.15 読解講座 読解の進め方
- p.16 読解講座 読解の進め方
- p.18 読解講座 読解の進め方
- p.19 読解講座 読解の進め方
- p.22 読解講座 読解の進め方
- p.23 読解講座 読解の進め方
- p.24 読解講座 読解の進め方
- p.25 読解講座 読解の進め方
- p.26 読解講座 読解の進め方
- p.32 読解講座 読解の進め方
- p.37 読解講座 読解の進め方

14:10

【アーカイブ配信開始のお知らせ】
昨日実施した論文模試2後ホームルームについて、資料・動画のアーカイブ配信を開始しました。

web school「講座からのお知らせ」欄からどうぞ。

■前半50分...ホームルーム部分(直前期のポイントは40分ほど)

■後半1時間...事前質問への回答続き、リアルタイムQ&A

答練等で動画視聴ができない場合には、まずホームルーム資料「スライド」の14ページまでをご確認ください。

14:13

目標年度・状況ごとに別アカウントで、
以下の内容をお知らせ。

お知らせ内容のイメージ▶Twitter @hirabayashi_tac

● セミナー・相談会等 実施情報

● 主な講義/答練日程の公表

(日程変更は、別途メール通知サービスをご利用ください。)

● よくいただくご質問

● 模試の平均点速報

● 直前期・当日の注意点等

ID検索「@598^{小文字}ctkam」

ID検索「@123^{小文字}cvkuk」

23目標 初学者向け

TAC平林
LINE公式アカウント



23目標 リスタート生向け

TAC平林
LINE公式アカウント



2022年7月～2023年10月 合格カレンダー共有について

★本日PDFファイルとExcelファイル双方を共有。

少し先の予定・目標は、付箋メモを活用。

一週間の目標はシャーペンなどで記入し淡々と進めるなど。

[illegible]

【受講生参加型】財務計算テキストチェックゼミ実施について

★毎週土曜日午前（又は水曜日夜）に
オンラインで実施。

問題をおさえるのではなく、
論点・処理のパターン分けが体系的に整理
できているか？チェックしていく。

パネリスト参加・・・講師に当てられたら、音声
を繋いで回答

視聴者参加・・・当てられることはなく、視聴のみ。

★講義受講が比較的少ない、
短答リスタート生が主な対象。
初学者も処理のパターン分け整理のため
視聴やアーカイブなど利用してもOKだが、
別途、実際にトレーニングなどを解く時間を
必ず確保することに注意。

TAC 公認会計士講座

／ オンライン開催 ／

財務計算 テキスト チェックゼミ

短答対策



**2023年合格目標 各種本科生
< 短答再受験生 推奨 >**

藤野伸哉 講師 担当

／ 受講生参加型のオンラインイベント！ ／

受講生の皆様にリアルタイムで参加いただき、講師との質問形式で「テキストを見ずに会計処理・処理の注意点を思い出せるか？」「計算処理の意味づけ（理論との関連など）ができていないか？」「テキストで見落としがないか？」等を確認していきます。当ゼミで初見の問題に対応できる力を身につけましょう！

開催日時	講義数 全10回	受講料 無料
	第1回 7/6(水) 19:30～21:00	対象者 2023年合格目標 各種本科生 < 短答再受験生 推奨 >
	※第2回以降の開催日時・テーマにつきましては、TAC WEB SCHOOL「講座からのお知らせ」に順次掲載いたします。	参加方法 【事前予約制】 TAC WEB SCHOOL「講座からのお知らせ」よりご予約・ご参加ください。
		学習テーマ 第1回は「現金及び預金、手形取引、有価証券、外貨換算会計」の論点について、講師より解説、理解度の確認を行います。出題範囲は「計算テキスト① 第2～6章」です。

【参加にあたっての注意事項】

・当オンラインゼミは、後日、アーカイブ配信予定です。詳細はTAC WEB SCHOOL「講座からのお知らせ」にてご案内します。

・当ゼミはZoomを利用して実施します。事前にアプリケーションをダウンロードの上、操作方法等をご確認ください。

・受講生参加型のゼミです。受講生の皆さまの発言も配慮されますので予めご了承ください。（視聴者としても参加できます）

7~9月のポイント(初学者・リスタート生共通)

1. 財務計算・管理計算が苦手な場合、最優先で取り組む。

「問題」ではなく「論点」をつぶす。アクセスをペースメーカーとして復習。

2. 全科目テキストを大事に、短答論文同時進行の意識で対策を進める。

基礎的な概念・処理を口頭で説明できるか。 ★ex.財理・監査…論:短=8~5:2~5の意識など

財理
各章扉
「Word」など

取り組んでいる分野について、短答対策も論文対策も行っている意識を大事に。

短答問題集でインプットするのではなく、あくまでテキストの理解・暗記の穴を見つけるきっかけや、アウトプット時の行動修正として問題集を使う。

3. 計算・理論共に、テキスト確認や問題演習を通じて、

理解があやふやな論点・疑問点のあぶり出し・解消を進める。

短答直前期に理論の知識暗記へ移行できるように、理解と、覚えるべき知識の特定を進める。詰め込む前につぶす。

4. アクセス・短答基礎答練について、毎回自分なりに丁寧に準備して受験。
正解した問題も含め、分析・復習する。

ex. テキストを見ながらであれば解けたか?(input) 時間配分?やらかしミス?(output)

★目標…正答率60%以上…全て取る。40-60%の問題…6割以上取る。できれば40%以上全取り。

5. 2~4週間ごとに個人目標を設定する。

初学者の場合…上記1~4を意識しながら講義受講・復習を進める。

計算科目のトレーニングを自信を持って解ける状態にしつつ、アクセス受講・復習。

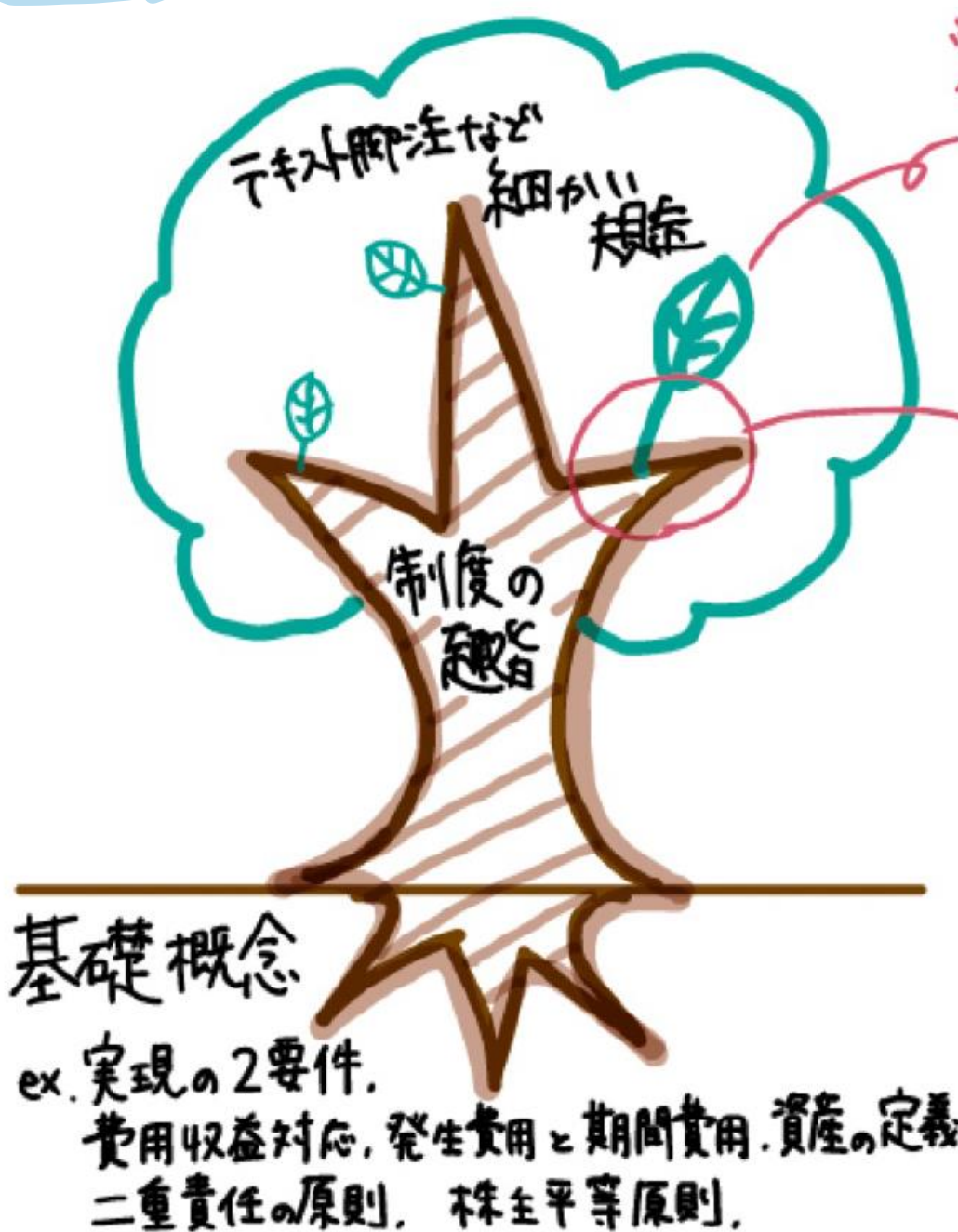
リスタート生の場合…本試験の正答率データを元に不足している力を特定。

インプット・アウトプット強化(詳しくは、6/27(月)実施リスタートホームルーム視聴)。必ず視聴

Youtube 6/4実施セミナーも

テキスト等の内容を理解し、ある程度口頭で説明できるようにする。
納得感を持てるようにする。

テキストの
参考
財計. 等



12月短答までの大まかなスケジュールとポイント(初学者・リスタート生共通)

★リスタート生は、5月短答の正解状況の分析。
インプット・アウトプットの不足等原因特定。

★2～4週間ごとなどで弱点克服の目標を設定。
まずは**財務計算**。
各科目、アクセス・基礎答練をペースメーカーとして活用。

7月

Input

8月

※リスタート生は、
Web論点別講義と
一部短答対策講義を
活用。
まず財理2～6章の
視聴がおすすめ。

8/26～9/15
短答式本試験
出願

9月

output 強化

アクセス ・ 短答答練

※リスタート生で
アウトプット強化が
特に必要な場合には、
一部短答対策講義を活用。

10月

11月

12月

回転期

★結論暗記&計算メンテナンス。
特に最後の2週間は、
計算科目の論点1周を意識。

7月半ば～
財計・管理
短答
アクセス
答練
全15回
(各週1回)

★全科目、テキストを大事に。短答論文同時進行。

理論科目は上級前半のみと
なる見込み。計算は全範囲
(主に基礎マスター論点)。

8月下旬頃

短答基礎答練①

★理論科目は、講義等で
理解を強化、不明点解消、
短答論文ともに覚えるべ
き事項を特定。

重要概念を説明できるよ
うに。

理論科目
短答
アクセス答練
全5回

9月後半頃

短答基礎答練②

★計算の定着・短答基礎
答練への準備開始に合わ
せて、理論科目の比重を
徐々に増やしていく。
10月頃に均等配分など。

10月半ば頃

短答直前答練①

毎週丁寧に準備して受験・復習。
正確性・スピードの向上/維持
のため、回転教材として繰り返
し解く(網羅性はテキストで)。

11月上旬頃

短答直前答練②

直前答練からは、本試験レベル
(もしくは本試験以上)の難易度。

11月19・21日頃 短答全国公開模試

11月末頃

短答直前答練③

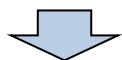
12/11(日)

短答式本試験

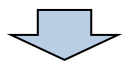
【参考】短答直前期（10月頃～）のポイント

1. テキストの理解を土台として、暗記を詰めて行く。暗記箇所や苦手な箇所はふせんを貼るなど、強弱を付ける。
2. 残りの答練・全国模試を通じて、時間配分や試験中の行動などを修正。
正解した問題・記述についても、あやふやな点がないか丁寧に復習する。
3. 毎日全科目取り組む。得意科目を放置しない。特に直前2週間は、財務計算・管理計算のアウトプット練習（正確性・スピードの維持）とテキスト等で論点1周確認。
4. 体調・メンタル管理。睡眠を大事に。

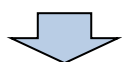
10月中旬 短答直前答練2



11月第3週頃 短答全国公開模試



11月下旬 短答直前答練3



2022年12/11(日) 短答式本試験

自分なりに仕上げた状態で受ける。難易度Aや正答率の高い問題の得点状況の分析。やらかしミスゼロにしていこう。

模試当日が本試験でも構わない状態が理想。
※ 模試前に完璧に覚えたものも、放置すると3週間で抜けてしまう。
知識・記憶が新鮮な状態になるように再度点検しておく。

暗記&計算メンテナンス。特に最後の2週間は、計算科目の論点1周を意識（&やらかし対策として適宜実際に解く）。

いつでも頭から知識が取り出せる状態に。

【参考】12月短答後、来年の5月短答を受ける場合

2023年1月～3月

状況によるが、**財計・管理**論文アクセス、短答科目の論文基礎答練を活用(できれば応用まで)

※論文アクセス・答練の使い方/優先順位は12月短答後のホームルームで説明。

★2月上旬～下旬

5月短答式試験出願

3月末まで

理屈重視、不明点の解消。**基礎概念や計算の解法プロセスを、口頭で説明できるか。**

インプット・アウトプット双方の強化。

租税法、選択科目(経営学がおすすめ)の講義・復習を、
無理のない範囲で進める(租税7回又は15回分、経営10回分までが目安)。

3月下旬 5月向け短答直前答練1

4月中旬 5月向け短答直前答練2

5月上旬 5月向け短答全国公開模試

4月中旬 5月向け短答直前答練3

4月～ 短答直前期・回転期。

租税、選択科目はストップ。

テキストの理解を土台として、

暗記詰め、計算メンテ・やらかし対策。

2023年5/28(日) 短答式本試験

5月短答 肢別解答率 企業法

60%~全取り_{だと}45点

★受験生全体の正答率60%以上の問題・・・全て取る。40-60%の問題・・・6割以上取る。4-60% 8問 × 6割 = 24点

ex. 時間配分? やらかしミス? テキストを見ながらであれば解けたか?

= 69点

企業法	出題テーマ	正解	配点	正解率 (%)	1 解答率	2 解答率	3 解答率	4 解答率	5 解答率	6 解答率
				0 20 40 60 80 100						
問題 1	個人商人の名板貸し	2	5		3%	74%	3%	10%	2%	7%
問題 2	商行為	6	5		2%	7%	11%	10%	22%	44%
問題 3	設立時募集株式の引受人	6	5		0%	4%	4%	2%	3%	83%
問題 4	株主の権利	3	5		4%	4%	55%	5%	21%	7%
問題 5	単元株式	1	5		78%	1%	1%	9%	8%	0%
問題 6	株券	5	5		9%	3%	22%	7%	49%	7%
問題 7	株主総会	1	5		78%	1%	15%	1%	2%	0%
問題 8	株主の議決権の代理行使	5	5		0%	0%	1%	6%	81%	9%
問題 9	株主総会の議事	1	5		93%	2%	3%	0%	0%	0%
問題 10	監査等委員会－取締役の報酬等	2	5		25%	55%	4%	9%	2%	2%
問題 11	特別取締役による取締役会決議	6	5		0%	3%	2%	4%	1%	87%
問題 12	会計参与	3	5		23%	8%	54%	3%	7%	2%
問題 13	電子公告－BS・PLの公告	5	5		31%	10%	3%	35%	19%	1%
問題 14	資本金及び準備金	6	5		1%	19%	6%	2%	2%	68%
問題 15	社債権者集会	4	5		10%	30%	6%	45%	2%	4%
問題 16	事業の譲渡等	4	5		6%	14%	5%	61%	4%	7%
問題 17	組織再編－反対株主株式買取	3	5		10%	19%	15%	30%	15%	8%
問題 18	株式交付	2	5		6%	46%	12%	16%	6%	11%
問題 19	確認書提出義務	4	5		5%	23%	4%	54%	5%	6%
問題 20	発行者による公開買付け	6	5		8%	44%	20%	8%	5%	12%

【リスタート生向け】考えられる原因

☐手薄な論点があった ☐テキストをあまり読んでおらず、問題集でインプットしていた ☐直前期にテキスト偏重で問題演習不足

☐問題集の表現で覚えており、具体的なイメージができず、表現が異なると判断ができなくなった

★7～9月中にテキスト太枠・図表を中心に納得感が持てるように。気になったら条文確認。

8月中まではごく簡単な問題(ミニテストや短答問題集のうち★3つ以上のA、早まり肢別問題集など)からテキストへ戻るなど。

5月短答 肢別解答率 管理会計論

★受験生全体の正答率60%以上の問題…全て取る。40-60%の問題…6割以上取る。

ex.時間配分?やらかしミス?テキストを見ながらであれば解けたか?

60%~全取りだと 理6問 計3問 22点
=52点
4-60% 理2問 計1問 18
x6割 = 10.8
= 62.8点
+ Q2.8点

管理会計論	出題テーマ	正解	配点	正解率 (%)	1 解答率	2 解答率	3 解答率	4 解答率	5 解答率	6 解答率
				0 20 40 60 80 100						
問題 1	理：費目別計算・個別原価計算	5	5		5%	9%	35%	14%	24%	10%
問題 2	計：原価計算総論・費目別計算		8		12%	7%	41%	9%	19%	9%
問題 3	理：個別原価計算	1	5		80%	4%	5%	2%	5%	1%
問題 4	計：部門別計算一階梯式配賦法	5	7		1%	1%	4%	4%	86%	1%
問題 5	理：総合原価計算	2	5		1%	88%	4%	1%	1%	3%
問題 6	計：総合原価計算	2	8		4%	51%	30%	9%	3%	0%
問題 7	計：標準一標準原価差異	4	7		5%	1%	6%	76%	10%	0%
問題 8	理：標準原価計算	1	5		75%	6%	11%	2%	4%	0%
問題 9	理：管理会計総論	4	5		0%	3%	1%	77%	3%	13%
問題 10	計：業務意思一最適SM	6	7		19%	9%	36%	10%	8%	16%
問題 11	理：予算管理	5	5		28%	5%	34%	2%	25%	3%
問題 12	理：原価管理	3	5		2%	4%	64%	3%	10%	14%
問題 13	計：ABC/ABM	6	8		2%	4%	19%	7%	2%	63%
問題 14	計：業務意思一販売・追加加工	4	8		6%	20%	39%	26%	6%	0%
問題 15	理：分権組織とグループ経営	1	5		78%	6%	3%	6%	4%	1%
問題 16	計：投資意思一NPV・取替	2	7		7%	36%	24%	10%	15%	5%

難易度A.

【リスタート生向け】考えられる原因

理論 □手薄な論点があった □問題でインプットしており、テキストの周辺論点暗記が不足

□問題集の表現で覚えており、具体的なイメージができず、表現が異なると判断ができなくなった

計算 □手薄な論点があった □テキストの体系的な理解・暗記が不足。間違えた時だけテキストに戻っていた

□数字が合わない時に粘り過ぎてしまった(最初の難易度判断に固執) □論点で難易度判断していた

★7~9月中にテキストの理解・暗記。トレーニングの解法プロセスが口頭で説明できる状態に。

難易度の見極めについては、10月の直前答練が始まるまでは関東の短答対策講義を利用。

直前期は、テキスト暗記→その単元の理論問題・計算問題をサンプルテストとして解く(テキストの内容を想起)。

5月短答 肢別解答率 監査論

60%~全取り 60点

だと

4-60%7問 × 6割 = 21点

=81点

★受験生全体の正答率60%以上の問題・・・全て取る。40-60%の問題・・・6割以上取る。

ex.時間配分?やらかしミス?テキストを見ながらであれば解けたか?

75(はい)

監査論	出題テーマ	正解	配点	正解率(%)	1 解答率	2 解答率	3 解答率	4 解答率	5 解答率	6 解答率
				0 20 40 60 80 100						
問題 1	我が国の公認会計士監査の歴史	5	5		10%	1%	13%	2%	72%	1%
問題 2	公認会計士法における監査法人	2	5		20%	53%	7%	11%	3%	4%
問題 3	金融商品取引法監査制度	3	5		5%	8%	71%	2%	6%	4%
問題 4	金融商品取引法監査制度	1	5		59%	6%	5%	9%	17%	1%
問題 5	金融商品取引法監査制度	4	5		9%	7%	2%	66%	8%	5%
問題 6	会社法における監査制度	1	5		66%	4%	15%	2%	9%	1%
問題 7	会社法における会計監査人監査	3	5		2%	15%	74%	1%	1%	4%
問題 8	四半期レビュー	6	5		0%	1%	0%	8%	9%	78%
問題 9	監査・四半期レビュー業務審査	5	5		3%	0%	2%	10%	74%	7%
問題 10	監査の品質管理	4	5		26%	8%	1%	62%	1%	0%
問題 11	監査基準の改訂	4	5		4%	5%	2%	75%	6%	5%
問題 12	G A A S	5	5		0%	0%	1%	3%	87%	7%
問題 13	職業的専門家の懐疑心等	6	5		0%	0%	1%	3%	24%	69%
問題 14	監査証拠の適合性	6	5		1%	16%	2%	20%	3%	55%
問題 15	会計上の見積り	6	5		1%	9%	7%	12%	8%	59%
問題 16	その他の記載内容		5		48%	13%	6%	18%	11%	2%
問題 17	監査意見又は監査報告	3	5		16%	3%	43%	6%	27%	2%
問題 18	比較情報の監査	2	5		4%	52%	2%	34%	1%	4%
問題 19	後発事象等の監査	3	5		9%	22%	50%	2%	4%	9%
問題 20	不正リスク対応基準	1	5		63%	5%	14%	4%	11%	1%

【リスタート生向け】考えられる原因

- ☐手薄な論点があった
- ☐問題でインプットしており、テキストの論点暗記・体系的な理解が不足
- ☐初見の問題を見た時に、テキスト関連ページではなく、どこかで見た問題が頭をよぎった

★7~9月中に、短答問題集を使いつつ、テキストの理解を進める。

基礎概念(章扉「重要コンセプト」)は口頭で説明できるように。直前期は、テキスト暗記→その単元の問題

5月短答 肢別解答率 財務会計論

★受験生全体の正答率60%以上の問題・・・全て取る。40-60%の問題・・・6割以上取る。4-60%

ex.時間配分?やらかしミス?テキストを見ながらであれば解けたか?

60%~全取りだと 理7問 計個5問 連5/6=116

理2問 計個5問 連1問=60

60×6割=36=152点

財務会計論	出題テーマ	正解	配点	正解率(%)	1 解答率	2 解答率	3 解答率	4 解答率	5 解答率	6 解答率
				0 20 40 60 80 100						
問題 1	理: 財務会計の基礎概念	2	8		2%	86%	4%	4%	0%	2%
問題 2	理: 企業会計原則の一般原則等	3	8		4%	1%	74%	0%	14%	4%
問題 3	計: 売掛・受手・電子記録債権	1	8		66%	11%	9%	7%	3%	1%
問題 4	計: 棚卸資産	2	8		1%	79%	5%	6%	2%	4%
問題 5	計: 無形固定資産	2	8		2%	37%	10%	40%	6%	3%
問題 6	計: 流動負債	4	8		3%	7%	18%	53%	10%	5%
問題 7	計: 資産除去債務	4	8		2%	1%	4%	84%	4%	1%
問題 8	理: 純資産-自己株式	1	8		95%	1%	0%	1%	1%	0%
問題 9	理: 包括利益の表示	4	8		13%	3%	2%	75%	5%	1%
問題 10	理: 1株当たり当期純利益	6	8		1%	1%	8%	18%	28%	41%
問題 11	計: CF計算書・外貨換算会計	4	8		7%	6%	28%	39%	14%	4%
問題 12	計: 貸倒引当金	5	8		3%	31%	25%	7%	26%	5%
問題 13	計: スtock・オプション	6	8		4%	3%	9%	4%	26%	52%
問題 14	理: リース取引	1	8		62%	2%	15%	0%	18%	1%
問題 15	計: 収益認識	5	8		4%	5%	15%	11%	54%	9%
問題 16	計: 退職給付会計	2	8		6%	41%	32%	5%	8%	5%
問題 17	理: 税効果会計	6	8		2%	13%	2%	15%	5%	60%
問題 18	計: 外貨換算会計-予約・振当	1	8		74%	8%	10%	4%	1%	1%
問題 19	理: 持分法会計	3	8		11%	9%	50%	4%	15%	9%
問題 20	計: 固定資産の減損	4	8		8%	24%	2%	59%	3%	1%
問題 21	計: 研究開発とソフトウェア	5	8		3%	5%	15%	9%	60%	5%
問題 22	理: 企業結合・事業分離等	6	8		1%	7%	2%	17%	3%	67%
問題 23	総: 連結-関連会社株式	3	4		2%	7%	81%	4%	1%	2%
問題 24	総: 連結-一段階取得に係る差益	2	4		3%	75%	13%	2%	3%	2%
問題 25	総: 連結-のれん	4	4		2%	3%	11%	65%	14%	3%
問題 26	総: 連結-関連会社株式	2	4		7%	58%	18%	8%	5%	1%
問題 27	総: 連結-非支配株主持分	2	4		4%	77%	10%	3%	3%	1%
問題 28	総: 連結-関連会社株式	2	4		1%	74%	13%	3%	3%	3%

【リスタート生向け】

考えられる原因

理論□手薄な論点があった □問題でインプットしており、テキストの論点暗記・体系的な理解が不足

□違う表現だと理解ができず判断できなかった(特に伝統論)

★7~9月中に、短答問題集を使いつつ、テキストの理解を進める。基礎概念(各章扉の「word」)は口頭で説明できるように。

財理はWeb論点別講義を全て見てもOK。特に2~6章は必ず見直しておく。

計算□手薄な論点があった □当初の難易度の判断に固執した(数字が合わず粘った) □知識暗記不足 □やらかしミス □スピード不足

★計算の対策について、詳しくはスライドp.17~ 直前期は、問題→テキストざっと確認(2週間以内1周を目安)

23目標の方向け 難易度の目安・学習時期

<TAC> 無断複写・複製を禁じます (23年合格目標)

令和4年第Ⅱ回短答式財務会計論 解答解説 (計算編)

問題番号	論点	解答番号	難易度	学習時期					
				BM1	BM2	BM3	BM4	上級	テキスト外
3	売掛金・電子記録債権	1	A	●					
4	棚卸資産	2	A	●					
5	無形固定資産	2	C	●	●				●
6	流動負債	4	A	●					
7	資産除去債務	4	A			●			
11	個別C S・外貨換算会計	4	A	●	●				
12	貸倒引当金	5	C	●				●	●
13	ストック・オプション	6	B			●			
15	収益認識(カスタマー・ロイヤルティ・プログラム)	5	A			●			
16	退職給付会計	2	C			●			
18	外貨換算会計(振当処理)	1	A	●					
20	固定資産の減損(のれんの取扱い)	4	A	●					
21	研究開発費とソフトウェア	5	B	●					
23	連結→持分法 子会社の資産負債の時価評価 持分法→連結 持分法の資産負債の時価評価	関連会社株式	3	A		●			
24		段階取得に係る差益	2	A			●		
25		のれん	4	A			●		
26		関連会社株式	2	B			●		
27		非支配株主持分	2	A			●		
28		土地	2	A			●		

短答アクセスについて

★出題範囲表・・・Web School「学習フォロー」「教材」

★毎週予習をして受験。「復習が終わっていないからずらす」のはNG。

財務計算の基礎マスター講義や管理の該当範囲上級講義が終わっていれば、受講開始。

詳しくは、23目標webschool配信済みのアクセスオリエンテーションを受講。

▼出題予定表に受験予定日を記入して、ペースメーカーとするのも◎

2023年合格目標 アクセス 出題予定表 短答対策 第1回～第15回

▼該当テキスト例題を丁寧に確認。トレーニング・実力テスト等に出ていない処理パターンも注意

<TAC>無断複写・複製を禁じます (23年合格目標)

< 財務会計論 (計算) >

回数	出題内容
第1回	現金及び預金、有価証券、外貨換算会計、ヘッジ会計
第2回	貸倒引当金、棚卸資産、研究開発費とソフトウェア、資産除去債務
第3回	有形固定資産、無形固定資産、投資その他の資産、繰延資産、固定資産の減損、リース取引
第4回	引当金、退職給付会計、社債、外貨換算会計、金融商品、ヘッジ会計
第5回	純資産の部、自己株式、新株予約権、新株予約権付社債、自己新株予約権、株主資本等変動計算書、分配可能額、ストック・オプション
第6回	本支店会計、税効果会計、収益認識
第7回	連結財務諸表
第8回	連結財務諸表
第9回	企業結合、事業分離
第10回	個別キャッシュ・フロー計算書、連結キャッシュ・フロー計算書
第11回	固定資産の減損、リース取引、会計上の変更及び誤謬の訂正、株主資本等変動計算書、連結財務諸表、連結キャッシュ・フロー計算書、共同支配企業の形成
第12回	連結財務諸表、四半期財務諸表、一株当たり当期純利益、セグメント情報
第13回	企業結合、事業分離、被結合企業の株主に係る会計処理、資産除去債務、税効果会計、連結財務諸表
第14回	取締役の報酬等として株式を無償交付する取引、退職給付会計、連結財務諸表、連結キャッシュ・フロー計算書
第15回	特殊商品売買、帳簿組織、伝票会計、連結財務諸表、企業結合、事業分離

2023年合格目標アクセス財務会計論 第1回出題範囲

出題分野	出題論点	2023年合格目標テキスト参照頁
現金及び預金	現金	基本テキスト① P 18
	先 日 付 小 切 手	基本テキスト① P 20
	未 渡 小 切 手	基本テキスト① P 21
	現 金 過 不 足	基本テキスト① P 29
	長 期 性 預 金	基本テキスト① P 41
	当 座 預 金	基本テキスト① P 42
	当 座 借 越	基本テキスト① P 48
	銀 行 勘 定 調 整 表	基本テキスト① P 52
有 価 証 券	取 得	基本テキスト① P 112
	売 却	基本テキスト① P 114
	端 数 利 息	基本テキスト① P 119
	決 算 時 の 処 理	基本テキスト① P 126
	有 価 証 券 の 減 損 処 理	基本テキスト① P 156
	親 会 社 株 式	基本テキスト① P 160
	株 式 分 割 ・ 併 合	基本テキスト① P 162
	約 定 日 基 準 と 修 正 受 渡 日 基 準	基本テキスト① P 178
	有 価 証 券 の 保 有 目 的 区 分 の 変 更	基本テキスト① P 184
	未 収 配 当 金	基本テキスト① P 198
	その他資本剰余金の処分による配当を受けた株主の会計処理	基本テキスト① P 200
	新株予約権の取得者側の会計処理	基本テキスト① P 202
外 貨 換 算 会 計	外 貨 建 有 価 証 券	
	売 買 目 的 有 価 証 券	基本テキスト① P 240
	満 期 保 有 目 的 の 債 券	基本テキスト① P 241
	そ の 他 有 価 証 券	基本テキスト① P 244
	減 損 処 理	基本テキスト① P 252
ヘ ッ ジ 会 計	時 価 ヘ ッ ジ	基本テキスト① P 351

財計のみ。
管理は
冊子「上級ガイドライン」参照



アクセス日程

2023年合格目標 アクセス 出題予定表 短答対策 第1回～第15回

< 管理会計論 >

回数	出題内容
第1回	原価計算総論、費目別計算、部門別計算
第2回	製造間接費の配賦計算、個別原価計算、総合原価計算
第3回	総合原価計算、標準原価計算
第4回	標準原価計算、直接原価計算
第5回	管理会計総論、財務情報分析 ... 計算・理論双方
第6回	後日公表いたします。
第7回	
第8回	
第9回	
第10回	
第11回	
第12回	
第13回	
第14回	
第15回	

※23目標から、解説中にiPad書き込み・問題ごとに解説をチャプター分けなど新方式導入。

短答答練 準備時のポイント

計算科目

- テキストで網羅的に処理点検。
- トレーニング等の復習により、正確性・スピードが足りない論点の向上。

理論科目

- テキストで、基本的な概念・理屈を確認。
- テキストのうち、問われやすい箇所よくある問われ方を問題集等で把握し、テキストにチェック。

【短答基礎答練 出題範囲の目安】※後日、Web School「学習フォロー」「教材」で
出題範囲公表。

財計 主に基礎マスター論点について、全範囲の見込み。

財理 昨年は、基礎答練が～第18章、基礎答練2は～第25章。直前答練から全範囲。

管理 全範囲の見込み。

監査論 基礎答練1は上級前半まで、基礎答練2以降は全範囲。

企業法 基礎答練1はテキスト①のみ、基礎答練2はテキスト②のみ。直前答練から全範囲。

短答答練 解答時のポイント

【解答順の例】

理論部分 各問約2分ずつ



計算 簡単な問題(財務は個別→総合) ※手間が掛かる又は難しい問題は一旦飛ばす



飛ばした問題のうち、解けそうなもの

計算科目

- 問題文を読み、問われていることを整理し、手順を思い浮かべる。
- 論点や見た目ではなく、あやふやな指示の有無・手順の量などから、解き進めるべきか判断する。
- 解き進める場合、正確性を意識して解く。

★計算は答練を通じて難易度の見極め・時間配分の練習をする(そのためには事前準備が重要)。

理論科目

- 問題文を区切りながら読む。誤りを探し、目印を付ける。比較的判断しやすい記述から手を付ける。
- 誤りの記述を2つ見つけ、消去法で○を選ぶ。○は積極的には判断しない。

★企業法・監査論は試験時間が15~20分ほど余るため(1問2分×20問など)、
誤りと考えた箇所・誤りの理由・正しくはどのような記述か、問題用紙に書き込むとよい。
正誤だけでなく誤りの論拠・判断過程まで合っているか、後で復習しやすくなる。

答練復習時のポイント(成績反映前)

- まず、難易度Aの問題について、時間があったら解けたか？

テキストを見ながらなら正解できたか？など復習。

難易度Bの問題・・・どんな理解があれば正解までたどりつけたか？
計算・・・なぜ難易度Bになっているか？分析(手間？論点の難しさ？)。

- 間違えた問題だけでなく、正解した問題についても復習。

理論科目は記述ごとに。

計算科目の難易度A・・・不安に感じた箇所はないか？下書きに向上の余地は？

難易度B・・・一旦飛ばせたか？

難易度B・Cに時間を掛けて、Aを失っていないか？

理論科目 誤りの論拠は合っていたか？

周辺知識・基礎概念につき理解できているか？

財理、監査→テキストへ
マーク

【計算科目間違えた問題の復習】★まずは正確性を意識。

ex. 時間があれば解けた▶ 難易度の見極めや時間配分。

もしくはスピード(処理を想起するスピード)

ex. テキストを見ながらなら解けた▶ インプットの穴や反復練習・答練前のメンテナンス不足。

ex. ひっかかった・やらかしミス▶ 論点確認と、やらかしミスの内容に応じて具体的な対策。

やらかしミス 原因と対策例

原因	対策例
①下書きを省略しすぎた	講師の下書きを参考に <u>過不足なく書く</u> 。 <u>月割計算</u> がある論点は特に注意。
②資料の読み飛ばし	<u>マーカーや色ペンを使いながら読む</u> 。 (短答・論文共に、問題用紙・下書き用紙には使用可能) ✓マークを資料左側に付す(改行付近が読み飛ばしやすい)。
③自分の下書きの読み間違い	数字ははっきり書く。自習時からB5などに <u>下書きを大きく書く</u> 。
④電卓の打ち間違い	打つスピードを緩める(<u>処理を思い出すスピードを速くする</u>)。 ブラインドタッチはしない。特に重要な箇所は気持ちゆっくり1・2度だけ電卓を入れるなど。
⑤電卓や資料からの転記ミス	転記時に、ペンで <u>指差し確認</u> 。電卓は体の近くで打つ。
⑥電卓を使わず暗算してミス	<u>極力暗算はしない</u> 。月割は指折り数えるなど。
⑦年度・決算日、税率、単位、 四捨五入、償還日・事業 供用日の指示をチェックも れ	<u>マーカーや色ペンを使いながら読む</u> (問題用紙には使用可能)。 事前に計算論点チェックリスト(webschool→「教材」)や、ミスを 振り返る。
⑧指示をチェックしたが、 解いているうちに忘れた	<u>解答中の自分の目の動きを振り返り、目に入る場所に書く</u> 。 解答選択直前に、一旦問題用紙・下書き全体を俯瞰。

答練復習 成績反映後のポイント

★みんなが取っている問題を確実に取れているか、分析。

●「正解状況診断データ」を確認(web school「学習記録」「成績表」)。

復習時は

難易度Aと、
正解率40%以上の問題を
全て取ること为目标とする。

特に60%以上の
問題に要注意。

※理論科目は、
正解率40%未滿や
難易度B・Cについても
本試験までにはおさえる。

正解状況診断データ

財務会計論	テーマ	解答	正解	判定	配点	正解率(%)	難易度
問題5	理：負債会計	3	3	○	8	80.5	A
問題7	計：純資産	6	6	○	8	73.9	A
問題16	計：リース取引	5	5	○	8	73.6	A
問題4	理：財務会計の基礎概念	1	1	○	8	73.1	A
問題1	理：概念フレームワーク	3	3	○	8	65.9	A
問題2	計：棚卸資産－売価還元低価法	2	2	○	8	65.5	A
問題17	計：退職給付会計	5	5	○	8	64.7	A
問題15	計：ストック・オプション	5	4	×	8	58.9	A
問題23	総：売上総利益	3	3	○	4	58.3	B
問題28	総：資本剰余金	3	3	○	4	57.1	A
問題13	計：有価証券	4	4	○	8	57.0	B
問題9	計：1株当たり情報	2	2	○	8	53.8	A
問題20	理：退職給付会計	1	1	○	8	52.8	A
問題25	総：非支配株主帰属当期純利益	1	1	○	4	52.0	B
問題21	計：企業結合	3	2	×	8	47.9	B
問題19	理：リース取引	1	1	○	8	45.0	B
問題26	総：その他の包括利益	6	6	○	4	45.0	A
問題10	理：収益認識	3	3	○	8	43.1	A
問題14	理：固定資産の減損	4	4	○	8	42.3	B
問題18	計：連結財務諸表－包括利益	3	3	○	8	40.8	B
問題11	計：キャッシュ・フロー計算書	5	4	×	8	38.3	B
問題27	総：利益剰余金	2	1	×	4	31.7	B
問題3	計：有形固定資産	4	5	×	8	30.7	B
問題8	計：特殊商品売買－割賦販売	3	4	×	8	30.2	C
問題12	理：金融商品会計	3	3	○	8	25.9	A
問題24	総：販売費及び一般管理費	3	4	×	4	22.5	C
問題22	理：企業結合	3	2	×	8	21.9	A
問題6	計：個別論点－流動負債	1	2	×	8	13.9	C

財務計算 論点チェックリスト活用例

web school上部→「学習フォロー」→「教材」→「計算論点チェックリスト」pdf

テキスト①〔金融商品・外貨〕

財務会計論【計算】論点チェックリストⅠ

p.3

よく間違える箇所は、
マークを振るなど。▶

論点	内容	CHECK	POINT
有価証券 (その1)(続き)	端数利息		直近の利払日の翌日から売買日までの利息のこと。
			売主は端数利息を売却代金とともに受取る。買主は端数利息を購入代金とともに支払う。
		*	買主の処理では取得原価に端数利息を含めない点に注意する。借方に有価証券利息が計上される。
			利付相場の場合、端数利息を控除して裸相場を算定する。
	減損処理		減損の要件：①売買目的有価証券以外、②時価(実質価額)の著しい下落(目安は取得原価の50%以上)、③時価(実質価額)の回復可能性が不能または不明
			時価のある売買目的有価証券以外の有価証券については、時価により行う。
			市場価格のない株式については、実質価額法により行う。
			評価差額は特別損失に計上し、切放方式による。
	親会社株式		次期に売却予定の場合は流動資産、それ以外の場合は固定資産(投資その他の資産)に区分する。
			通常、その他有価証券に分類されるため、決算において時価評価を行う。
	株式分割・併合		株式分割は株式の単価が下がる。株式併合は株式の単価が上がる。仕訳はない。
有価証券 (その2)	約定日基準と修正受渡日基準		約定日基準の未収入金・未払金を有価証券に置き換えると修正受渡日基準の仕訳になる。損益に与える影響は同じ。
			振替価額は「変更前の保有目的区分」の評価基準に従う。

「原価計算基準と本試験」冊子 活用例

(※詳しくは管理会計の上級講義初回等でも説明)

見開き左側…原価計算基準原文

以下の問題から出題箇所を一元化。

- 短答理論問題集
- アクセス・短答答練
- 冊子見開き右側の過去問

※テキスト末尾の基準原文よりも
文字・余白が大きい
ため、
出題箇所の書き込み・細かい暗記がしやすい。

シールを
貼って
出題回を
×モ など。

見開き右側…過去問

よく出やすい箇所を掴む。
断片的に覚えるのではなく、
テキストの理解と紐付ける。

原価計算基準の設定について

わが国における原価計算は、従来、財務諸表を作成するに当たって真実の原価を正確に算定表示するとともに、価格計算に対して資料を提供することを主たる任務として成立し、発展してきた。

しかしながら、近時、経営管理のため、とくに業務計画および原価管理に役立つための原価計算への要請は、著しく強まってきており、今日、原価計算に対して与えられる目的は、単一でない。すなわち、企業の原価計算制度は、真実の原価を確定して財務諸表の作成に役立つとともに、原価を分析し、これを経営管理者に提供し、もって業務計画および原価管理に役立つことが必要とされている。したがって、原価計算制度は、各企業がそれに対して期待する役立ちの程度において重点の相違はあるが、いずれの計算目的にもともに役立つように形成され、一定の計算秩序として当時継続的に行なわれるものであることを要する。ここに原価計算に対して提起される諸目的を調整し、原価計算を制度化するため、実践規範としての原価計算基準が設定される必要がある。

原価計算基準は、かかる実践規範として、わが国現在の企業における原価計算の慣行のうちから、一般に公正妥当と認められるところを要約して設定されたものである。しかしながら、この基準は、個々の企業の原価計算手続を画一に規定するものではなく、個々の企業が有効な原価計算手続を規定し実施するための基本的なわくを明らかにしたものである。したがって、企業が、その原価計算手続を規定するに当たっては、この基準が弾力性をもつものであることの理解のもとに、この基準にのっとり、業種、経営規模その他当該企業の個々の条件に応じて、実情に即するように適用されるべきものである。

この基準は、企業会計原則の一環を成し、そのうちとくに原価に関して規定したものである。それゆえ、すべての企業によって尊重されるべきであるとともに、たな卸資産の評価、原価差額の処理など企業の原価計算に関係ある事項について、法令の制定、改廃等が行なわれる場合にも、この基準が充分にしん酌されることが要望される。

昭和37年11月8日

企業会計審議会

一元化

アクセス・答練

事前質問から企業法について

Q.「企業法のテキストについて、情報量が膨大であるため、読んでいてパニックになります。問題集からテキストや条文に戻るやり方だと、理解できていないため、テキストで該当箇所を探すのに手間取り、時間がかかり過ぎてしまいます。講義を受け直した方がよいでしょうか。」



ポイント: 太枠の趣旨、ざっくり理解

- ① まず、全体的に、**テキスト太枠の趣旨について、**
納得感が持てる程度までざっくり復習。

図解の状況、具体例

テキストを読んでも具体的な状況がどうしてもイメージできなければ、その箇所は講義を見直してもOK。

- ② 太枠についてざっくり納得できた章について、確認テストとして、**ごく簡単な短答問題(ミニテスト又は短答問題集A又は早まくり肢別問題集)**を使って復習を進める(①の後を追う)。
趣旨がわからない規定はテキスト確認。
- ③ 短答基礎答練に向けて、もう一度復習。
よく間違える条文は六法でチェック。

企業法 テキスト構造と、達成すべき水準の目安

1. 太枠・図解・・・重要規定。

★趣旨に納得できるか。具体的な状況をイメージ。特に、ゴシック体部分。
誰を守っている規定か？この規定が無いと、どんな争い起きるか？

事項	普通決議 (100分の過半数)	特別決議 (3分の過半数)
定款の変更	普通決議	特別決議
合併	普通決議	特別決議
解散	普通決議	特別決議
定款の増資	普通決議	特別決議
定款の減資	普通決議	特別決議
定款の増設	普通決議	特別決議
定款の削除	普通決議	特別決議
定款の改正	普通決議	特別決議
定款の廃止	普通決議	特別決議
定款の制定	普通決議	特別決議
定款の訂正	普通決議	特別決議
定款の追記	普通決議	特別決議
定款の抹消	普通決議	特別決議
定款の追加	普通決議	特別決議
定款の削除	普通決議	特別決議
定款の改正	普通決議	特別決議
定款の廃止	普通決議	特別決議
定款の制定	普通決議	特別決議
定款の訂正	普通決議	特別決議
定款の追記	普通決議	特別決議
定款の抹消	普通決議	特別決議
定款の追加	普通決議	特別決議

2. まとめ表・・・重要規定を場合分けなどでまとめたもの。

付箋を貼り、短答直前期に活用。

★それぞれの状況について、趣旨と紐付けて比較しておさえる。規定の強弱に着目。
ex. なぜ特別決議が必要か？逆に、なぜこの場合だけは普通決議で足りるのか？

3. 細枠や枠外の補足説明・・・理解の助け・深掘りに役立つ知識・解説。 他の制度との比較など。

★まずテキスト全般について太枠部分に納得感を持てるようになってから、
理解の深掘りとして読み進めるなど。

4. 「問題の所在」「論証例」・・・論文論点。

★太枠の規定を前提として、明文規定が無い特殊な状況等について取り扱っている。
まずは上記1.2.を理解。さらに理解の深掘りとして、「問題の所在」や関係性を示した図を見て「あ～、確かにこりゃもめるな」と納得できればOK。12月短答以降はざっくり説明できるように順次進めていく(条文に載っている部分も多い。財理優先。)

その他事前にいただいたご質問

■アーカイブ配信はどこから見られますか？また具体的にはいつ頃から見れるようになるか教えて頂きたいです。



Web School「講座からのお知らせ」欄に上がります。
また、ホームルームについては、概ね翌営業日にアーカイブ配信を開始しています。

■財務の計算についてです。

特別苦手な単元があるわけではないのですが、全般にわたって、所々抜けている論点などがあったり、また1度完璧にした単元についても、気付いたら解き方を忘れていたりして、短答までに復習が間に合うか不安です。

効率の良い復習方法などありますか。

また、アクセスと同時並行で自分なりの復習をした方が良いでしょうか。[学生]



はい、アクセスの予習と同時並行で、復習を進めていきましょう。実際に解き直す復習と別で、解き方を場合分けて想起できるか意識すると、効率良く進められます。電車移動などが長ければ、藤野先生のテキストチェックゼミアーカイブもご活用ください。

■働きながら勉強していた期間が長く、ズルズルと続けているため、入門、上級の授業を受けた時期が約3年前になります。

今回5月の短答は財務・管理計算6割程度、理論科目が5?6割程度の得点比率で、全体の得点が61.4%でした。

web論点別講義を受け直すべきかどうかの判断はどのようにすればよろしいでしょうか。



まず、5月の本試験を正解率データ・難易度を元に振り返りましょう。難易度Aや正解率40%以上の問題について、テキストを見ながらも正解できない取れないと感じる(テキストを読んでも内容が理解できていない)場合は、その論点は受け直す必要がありそうです。

特に財務理論は、論文のためにも、全て受け直した方がよいケースが多いです。特に、2～6章は仮に財務理論で今回満点を取っている方でも、受け直すことをおすすめしています。前半の基礎概念をおさえられていないと、後半の章の理解を阻害することが多いです。例えば、「発生費用」と「期間費用」の概念がどのように異なるか、などです。

実力テスト・パワーアップ問題について

■入門・上級の講義をうけた時期が約3年前のため、当時の実力テストやパワーアップが所々手元にない状態なのですが、この間の簿記スタンプラリー時のミニテストのように、新しいものを頂くことはできませんでしょうか。よろしくお願いします。



大変恐れ入りますが、実力テスト・パワーアップは入門基礎マスター時の教材のため、再配布は承っておりません。

代わりの教材として、23目標からは構造論点のトレーニングの末尾に、「トレーニング総合問題」が収録されています。そちらを総合問題として活用していただくのがおすすめです。

質問メール制度について

■web通信生です。質問メールの回数制限について、月20回が上限となっていると思いますが、引っかかってしまったことがあります。校舎にはなかなか行けない場所で勉強しており、ZOOM質問もいつも混んでいるので、通学生と通信生で対応を分けていただくことはできませんでしょうか。確か通学生も20回が上限になっていたと思います。また、返信を頂くまで1週間以上かかることもありますので、早めにご返信いただけると助かります。ご検討のほどよろしくお願いいたします。



ご不便をお掛けしており、申し訳ございません。

質問メールについては、一度本部でメールを受け付ける→講師・チューターへ割り振り→担当者が本部へ返信→営業日に本部が返信手続という流れになっているため、科目によっては返信が遅くなっています。ご要望が多いため、増員等を進めています。

zoom質問コーナーの混雑緩和については、参加方式改善を検討中

です。

試験的に、財務理論について、私の方で一斉に受講生さんから質問を受け付けるLINEオープンチャットを開設予定です。始動しましたら、Web School「講座からのお知らせ」欄や23目標向けLINE公式アカウントでお知らせします。よろしくお願いいたします。

企業法について

■初年度生の頃から、理論科目全般の学習がうまくいっていません。講義を必死で受けてその後放置、を繰り返してしまい、ほぼ何も身に付いていない状態です。

特に企業法は情報量が膨大で、テキストを読んでも情報の体系立てができず、パニックになってしまいます。

早まくり問題集をやって、意味がわからないところはテキストやWeb論点別講義の該当箇所を見て理解しようとしたが

そもそも体系立てができているいせいか、テキストや講義の該当箇所を探すところから躓いてしまい、全然進められません。

テキストではなく六法に戻る方法で問題集一周してみましたが、その場限りの断片の記憶になってしまい、何も身に付いていない感じです。やはり趣旨を確認して理解しないと覚えられないため、テキストや講義に戻るべきと思っています。

ただ、これからWeb論点別講義を全て視聴したところで、初年度生のときと同じ失敗を繰り返すだけだと思い、方法に悩んでいます。

根本的なやり方が分かっておらずお恥ずかしいですが、どうかアドバイスをよろしくお願い致します。[専念生]



テキスト太枠の規定について、趣旨をひとつお確認しましょう。

全体像を確認するため、一旦細枠や「論点」は飛ばして、全体的に復習を進めるのがおすすめです。

具体的な状況がどうしてもイメージできなければ、その箇所は講義を見直してもOKです。

また、テキストを読む際には、テキストの構造と、それぞれについて達成すべき水準・目指す状態を把握しておきましょう。

よくいただくご質問のため、メインスライドの方にまとめましたので、ご参照ください。

■「通信生です。大学の期末試験の勉強との兼ね合いで、ウェブの授業をスケジュール通りに受けられそうにありません。そのため、以下の授業の優先順位、復習の優先順位をつけていただきたいです。」

- ・アクセス答練（財計、管理）
- ・財務会計理論
- ・監査論
- ・企業法



アクセス答練は、該当範囲の講義受講が終わっているなら、基本手金いペースメーカーとして受講したいです。
理論科目については、上級講義が8月末か9月末頃には終わるようにすると、答練等に問題なく合流できます。

8月第3週頃に実施される短答基礎答練1回目については、理論科目は上級の前半部分が範囲になる見込みですので、逆算して講義受講しましょう（出題範囲は後日Web School「学習フォロー」「教材」欄で公表予定です）。

校舎・zoom質問コーナー

★校舎の質問コーナーの方が、zoomよりも比較的空いています。

近くにお住まいの方は(通信生の方も含めて)、ぜひ校舎質問コーナーをご利用いただければ幸いです。

科目ごとの内容質問の他、
学習の進め方等について、講師に1対1で直接相談可能。
事前予約は不要。混んでいる時は15-20分ほど目安。

TAC公認会計士講座 【関東地区 質問・相談コーナー】5月予定表 確定版

・【質問・相談コーナー】(成績相談は除く)は、お申し込みの方の受講期間にもご利用いただけます。ご利用方法は各校舎にお問い合わせください。
・オンラインで質問できる「質問・相談コーナー(ZOOM版)」の利用方法は、TAC 窓口 50504以内のお知らせ(TOP画面)をご覧ください。

日	水	道	橋	校	新	宿	校	A	***	池	袋	校	澁	谷	校	横	浜	校	立	川	校	津	田	沼	校	向	田	校	大	宮	校	Zoom	2022年5月6日現在
5/1	日																																
5/2	月																																
5/3	火																																
5/4	水																																
5/5	木																																
5/6	金																																
5/7	土																																
5/8	日																																
5/9	月																																
5/10	火																																
5/11	水																																
5/12	木																																
5/13	金																																
5/14	土																																



質問日程

質問コーナー日程表
(受講生HP「@C.P.A」)

【zoom質問コーナーへの参加方法】

web school トップページ下段

「zoomを利用した質問・相談コーナーについて」
リンクから待機室へ。ビデオオフでの参加もOK。

学習フォロー
[i-support]

学習記録

ビデオブース予約
教室情報

登録情報

問い合わせ

ヘルプ

ログアウト

▶一覧を見る

カイク動画
6/6開催

開催いたし

除対象の
セミナー

配信いたし

こちらは、よろ

短答トレーニングアプリ提供開始のご案内

短答向け対策用デジタル学習ツールとして、「短答トレーニングアプリ」のご提供を開始します。
→ご利用希望の方は、利用登録申請をお願いいたします。 → 利用登録申請ページ

Zoomを利用した質問・相談コーナーについて(修了考査を除く)

オンラインで講師に直接、質問・相談できる、Zoom(インターネットを利用したテレビ会議システム)を活用した相談制度を実施しております。
■オンライン質問・相談コーナー(Zoom版) ←サイト閲覧パスワード: [パスワード]

受講生向けサイト情報

■受講生サイト「@C.P.A」

■講義日程表ページ

■質問・相談コーナー(合格者チューター)

■個別成績相談

■デジタル教材利用案内

■TAC就職サポート

■新規入会者紹介制度

■受講ガイド

バーチャル模試

公認会計士受験生のためのバーチャル模試をご用意しました(YouTube配信)。会場の雰囲気を感じながら答練を解きたい方は、ぜひご利用ください。
■1時間Ver ■2時間Ver ■3時間Ver

個別成績・学習方法相談（久^く野^の/平林/蓮尾/塚本）

毎週土曜日13時～次週1週間分をネット予約受付
<https://tacschool.resv.jp/>

※校舎・zoomで実施しています。

※通常^の質問コーナー（予約不要）でも、
学習全般の質問を各講師が承ります。

●個別成績・学習相談日程表（受講生HP「@C.P.A」）

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/seiseki-sodan.html



TAC会計士講座 就職サポート(相澤)

フリーダイヤル 0120-527-699 (平日14~17時)

メール counselor@tac-school.co.jp

zoomを使った
オンライン相談も
可能です。

論文式試験後の監査法人への就活・転職だけでなく、
学習中に出てきた就職に関連するお悩みについて、何でもお気軽にご相談ください。

現在の学習状況/環境・バックグラウンドを踏まえて、具体的にアドバイスいたします。

- 転職するか。退職して受験専念生となるか。退職する時期・決め手は何か。
- 卒業後、受験専念生となるか、働きながら受験対策を継続するか。
- 卒業から数年後に社会人受験生となる場合、就職先を選ぶ際の留意点は何か。
- 就職活動と受験対策を併行する場合のポイント。
- 受験対策を辞めて就職する場合、エントリーシートの書き方のポイント。
- 会計事務所等/監査法人や一般事業会社への就職・転職など、
どのような選択肢があるか。募集が活発になる時期の目安。

TAC就職サポート
イベント情報



重要事項の掲載場所/内容

[試行導入] 23目標生向け LINE公式アカウント

セミナー・相談会等実施情報、よくいただくご質問、模試の平均点速報、主な講義日程の公表、直前期・当日の注意点等について、
目標年度・状況ごとに別アカウントでお知らせ。



23目標
初学者向け
TAC平林
LINE公式アカウント



23目標
リスタート生向け
TAC平林
LINE公式アカウント

お知らせ内容のイメージ▶ Twitter @hirabayashi_tac

受講生サイト「@C.P.A」



受講生サイト@C.P.A.

- 講義日程 ● 質問コーナー日程表
- 個別相談予約・日程表
- 本試験解答速報等
- 合格体験記※匿名の体験記は本日の配付資料「メッセージ集」



合格体験記・合格者の声

Web school

- トップページ…… ● Zoom質問コーナー(予約不要)
- 「講座からのお知らせ欄」(毎週check!もしくは上記公式LINE登録)
- 「学習フォロー」… ● 教材(進度表、出題範囲表、論点チェックリスト等)
- 質問メール ● 正誤表
- 「学習記録」…… ● 成績表

TAC公認会計士講座Twitter https://twitter.com/tac_cpa

TAC関西会計士Twitter <https://twitter.com/TACwestCPA>

TAC講師 Twitter リスト <https://twitter.com/i/lists/1473831538869796864>



会計士講座
Twitter



TAC関西会計士
Twitter



TAC会計士講座
講師Twitterリスト

【MEMO】